

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-29437(P2017-29437A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-152984(P2015-152984)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月21日(2018.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な第 1 流路と、
遊技球が流下可能に構成され、前記第 1 流路とは異なる第 2 流路と、を備え、
前記第 1 流路と前記第 2 流路とのうち少なくとも一方が変位することで、前記第 1 流路
と前記第 2 流路とが連通し、前記第 1 流路を流下した遊技球が前記第 2 流路へと流入可能
となる第 1 状態と、前記第 1 流路と前記第 2 流路とが離間し、前記第 1 流路を流下した遊
技球が前記第 2 流路へと流入困難となる第 2 状態と、を少なくとも形成可能な遊技機にお
いて、

前記第 1 流路または前記第 2 流路のうち一方に変位可能に配設され、前記第 1 流路また
は前記第 2 流路のうち他方に当接する特定位置に変位することで前記第 1 流路と前記第 2
流路とを連通させる変位手段と、

前記第 2 状態において前記第 1 流路へと流入した遊技球が前記第 2 流路方向へと流下す
ることを、前記第 2 状態の間抑制することが可能な抑制手段と、

遊技球を前記遊技機の外部へと排出可能な排出手段と、

前記第 2 流路を流下した遊技球を、前記第 1 流路とは少なくとも異なる方向であって前
記排出手段へと到達し得る方向へと誘導する誘導手段と、を備えることを特徴とする遊技
機。

【請求項 2】

遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊
技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、遊技領域へと発射された遊技球が通過可能な流路が複
数設けられているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0003
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

しかしながら、上述した従来型の遊技機では、遊技球を好適に流下させることができない
なくなってしまう虞があった。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

本発明は上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技球を好適に
流下させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0008】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が流下可能な第1流路と、
遊技球が流下可能に構成され、前記第1流路とは異なる第2流路と、を備え、前記第1流
路と前記第2流路とのうち少なくとも一方が変位することで、前記第1流路と前記第2流
路とが連通し、前記第1流路を流下した遊技球が前記第2流路へと流入可能となる第1状
態と、前記第1流路と前記第2流路とが離間し、前記第1流路を流下した遊技球が前記第
2流路へと流入困難となる第2状態と、を少なくとも形成可能なものであり、前記第1流
路または前記第2流路のうち一方に変位可能に配設され、前記第1流路または前記第2流
路のうち他方に当接する特定位置に変位することで前記第1流路と前記第2流路とを連通
させる変位手段と、前記第2状態において前記第1流路へと流入した遊技球が前記第2流
路方向へと流下することを、前記第2状態の間抑制することが可能な抑制手段と、遊技球
を前記遊技機の外部へと排出可能な排出手段と、前記第2流路を流下した遊技球を、前記
第1流路とは少なくとも異なる方向であって前記排出手段へと到達し得る方向へと誘導す
る誘導手段と、を備える。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段を備える。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の遊技機によれば、遊技球が流下可能な第 1 流路と、遊技球が流下可能に構成され、前記第 1 流路とは異なる第 2 流路と、を備え、前記第 1 流路と前記第 2 流路とのうち少なくとも一方が変位することで、前記第 1 流路と前記第 2 流路とが連通し、前記第 1 流路を流下した遊技球が前記第 2 流路へと流入可能となる第 1 状態と、前記第 1 流路と前記第 2 流路とが離間し、前記第 1 流路を流下した遊技球が前記第 2 流路へと流入困難となる第 2 状態と、を少なくとも形成可能なものであり、前記第 1 流路または前記第 2 流路のうち一方に変位可能に配設され、前記第 1 流路または前記第 2 流路のうち他方に当接する特定位置に変位することで前記第 1 流路と前記第 2 流路とを連通させる変位手段と、前記第 2 状態において前記第 1 流路へと流入した遊技球が前記第 2 流路方向へと流下することを、前記第 2 状態の間抑制することが可能な抑制手段と、遊技球を前記遊技機の外部へと排出可能な排出手段と、前記第 2 流路を流下した遊技球を、前記第 1 流路とは少なくとも異なる方向であって前記排出手段へと到達し得る方向へと誘導する誘導手段と、を備える。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

これにより、遊技球を好適に流下させることができるという効果がある。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】2 6 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【2 6 2 6】

1 0	パチンコ機（遊技機）
4 2 1 c	排出開口部（排出手段）
4 2 2	第 2 通路形成部材（第 2 流路）
4 2 2 d	溝部（第 2 流路の一部、誘導手段の一部）
4 2 2 f	収容凹部（誘導手段の一部）
4 2 4	接続部材（変位手段）
4 2 4 d	連結カバー（誘導手段の一部）
5 0 0	左揺動ユニット（第 1 流路）
5 1 5	流下通路（抑制手段）
5 2 0	第 1 通路形成部材（第 1 流路の一部）
6 4 0	回転部材（可動体）
6 3 1	回転用モータ（可動手段）
S 2 1 4	特典付与手段の一部
S 3 0 5	判別手段の一部
S 5 0 8	判別手段の一部
S 1 1 1 6	特典付与手段の一部
S 1 7 1 6	識別部決定手段
S 1 8 0 7	移動手段
S 2 8 0 8	可動制御手段の一部
S 3 5 0 4	可動制御手段の一部、決定手段の一部
B	球（報知部材）